

もしも…のとき 自然災害と防災

富山と大震災

御存知の通り、今年3月11日に発生した東北・関東地方を襲った最大M9.0の大地震は、宮城県・岩手県・福島県などを中心に甚大な被害をもたらしました。また、それに伴う福島第1原発の放射能漏れや電力不足による計画停電、燃料や食料品の不足など、住民の生活に大きな支障が出ています。

一方、かつて富山県も大震災に見舞われたことがあります。**1858年4月9日**（安政5年、旧暦の2月26日）に現在の跡津川断層を震源とした「**安政の大地震（安政飛越地震）**」が発生し、立山連峰から崩れ出た土砂により、常願寺川が堰き止められ、河川の決壊により多くの人命が失われました。

「地震大国」日本において、地震災害は身近な存在と言えます。また、地震は何の前触れもなくやってきます。いつ富山でも発生するかわかりません。今回の被害を受けてパニックになったり、あわてて買い占めに走ったり、必要以上に恐れたりするのではなく、なおかついざという時に冷静に災害に対処できるよう、**富山県、各市町村の災害対策情報**や、**普段からの備えに役立つ情報**を展示いたしました。

あわせて、かつて富山を襲った**安政の大震災の様子**が分かる資料、加えて今回の**東日本大震災に何か救いの手を差し伸べたいとお考えの方に役立つ情報**も展示いたします。

